

県内中小企業の東欧におけるADAS・EV関連自動車部品等の販路開拓調査事業

2020年04月～2021年02月実施予定 公益財団法人鳥取県産業振興機構

【課題】

- 実施中のA事業で分かった課題
中国吉林省ではADAS機能を実装した超小型eモビリティの社会実装の検討が十分できないと史料。
- そこで、下記の3点が明確になった。
- ・新たな市場でのニーズ把握が必要
- ・社会実装に向けた実証実験が必要
- ・新たな実証実験の環境を探す必要



【目的・対応】

A事業はADAS機能を実装した超小型eモビリティの社会実装を通じて県内中小企業の販路開拓を図ることであり、市場ニーズを把握し、適切な実証実験を行こなう必要がある。

- ①地方創生のために新たな研究、事業化を目指す専門機関等と連携する。
- ②東欧のチェコを対象としニーズ把握の視察を行う。
- ③実証実験は、人と車が共生するボンエルフ街区でのADAS実験として県内のニュータウンで行う。



【都道府県の施策との連携・親和性】

- ・鳥取県が推進しているADAS・EV関連産業の集積（「グローバルバリューチェーンの構築」）において、長春と欧州を繋ぐ国際定期貨物列車で欧州に輸出する事としており当該事業と強い親和性がある。
- ・青山学院大学と鳥取県が包括連携協定を締結しおり、その具体的な取り組みの一環で、当該事業は鳥取県の施策と強い親和性がある。

【本事業の内容】

チェコ共和国でADAS・EV関連自動車部品等の販路開拓調査を行う。

1. A事業とB事業（今回申請）との関係（人材育成部分を除く）

	中国吉林省長春で対応できる範囲			→	国内専門家等、チェコ共和国視察で対応する部分			
	A事業（既存）	ADAS			B事業（新規）	ADAS		
		ガソリン車	EV車			ガソリン車	EV車	超小型eモビリティ
ニーズ調査	○	○	×					○
試作開発	○	○	○					
実証実験	○	○	×					○

2. 事業の内容

- ①地方創生のために新たな研究、事業化を目指す専門機関等と連携して、県内でADAS機能を実装した超小型eモビリティをライドシェア、カーシェア活用する事業化を目指す県内中小企業を支援する。
- ②欧州自動車産業のバリューチェーンの中核的位置を占め、モビリティの社会実装が進行しているチェコ共和国における社会実装の現地システムを視察すると共にADAS・EV関連自動車部品等の販路開拓の可能性を調査する。

3. スマート地方創生等を研究、事業化を目指す専門機関等との連携
青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング（以下Aogaku Hiconと記載）、明大自動運転総合研究所、自動運転を手がけている企業等と連携し、モビリティの社会実装と事業化の検討、及び専門家を招聘しセミナー等で県内企業への情報提供を行う。
（青山学院大学と鳥取県は包括連携協定を締結している）

4. チェコを調査する背景

- 日本と並ぶ超少子高齢化への対応をせまられており、超小型eモビリティの社会実装及び活用面で共通性がある。
- 自動車部品生産額はEU域内でドイツに次ぐ第2位、最大の輸出先はドイツであり、EUの主要なEV市場のニーズが集中している。
- 欧州で進展するEV化の動きにどう対応するかという課題を抱えており、EV市場の新たなニーズ情報を積極的に収集していると思われる。
- ADAS・EV分野に進出可能な製品、技術の調査、デバイス開発の検討

5. 調査協力、連携先予定

- Aogaku Hicon、明大自動運転総合研究所、自動運転を手がけている企業、JETRO、チェコ商工会議所等

【成果目標】

- 直接的成果目標
 - ・新規ニーズ発掘10件以上
 - ・2社以上のマッチング及び事業化支援
 - ・社会実装化に向けた実証実験の実施情報の収集
- 間接的成果目標
 - ・A事業で新規試作開発1件以上
 - ・新規試作品の販路開拓
 - ・実証実験の企画立案、実施



【波及効果】

地域に適合するADAS機能を実装した超小型eモビリティの創作技術の取得と、実証実験実施のノウハウが蓄積される。

新規ニーズの発掘から県内複数企業がADAS関連製品を開発し、中国（第一汽車）及び国内での販路開拓につながる。



【将来の支援目標】

チェコを拠点としてEU圏でADAS関連製品の販路拡大を図る。

山間地域や高齢者等の交通弱者が多く居住する地域でADAS機能を実装した超小型eモビリティをライドシェア、カーシェア活用することで、地域の活性化を図る事業を展開する県内企業を支援する。